

フィリピンをもっと知ろう⑦(連載)

ミンダナオ島に平和を

政治や宗教のことを書くのはやめたほうがいいといわれ
ます。政治は権力が働き、変化があります。宗教は信仰と
信念が働きます。

世界の三大宗教は、キリスト教(21億700万人)、イス
ラム教(12億8000万人)、仏教(3億8000万人)と言わ
れます。また、ヒンズー教は8億5000万人と推されます。

フィリピンはカトリック系で、チボリには教会もあり家
族そろってクリスマスを祝い、お祈りをしています。

しかし、ミンダナオ・イスラム自治区があり、300万人
の人口で、住民投票で知事を選んでいきます。マニラの中央
政府の援助が無くては、環境や教育などを整える資金が足
りないといわれています。かつては、イスラムの聖地と言
われた「抵抗の島」ミンダナオ島です。スペイン、アメリ
カの支配の時代にキリスト教が布教され、現在イスラム教
は1割であろうといわれています。モロ・イスラム解放戦

線(MILF)が不満を募らせ、独立を掲げています。自治
区のカウイ教育相は「イスラム教もキリスト教も神は一つ。
アラーと呼ぶかイエスと呼ぶかの違いです。だからイスラ
ム教の価値観は、すべての宗教に共通する」といつている。

自治区内の識字率は63%で低い。(平成17年12月2日~
5日東京新聞、中部日本新聞)

若きゲリラの人たちの不満、反発で闘争があり、外務省
が渡航自粛を伝えている。このため、チボリ訪問も出来ず、
昨年9月に事務局長が単身訪問し、実状を調査し交流し
たのがやっとです。

チボリには民族宗教ともいえる自然教があり、連載の民
話に表れています。宗教は絶対者(神)、救済、信仰は共
通です。教義、信念の強さで排他的になりがちです。平和
を願い、安心の生活で皆が生きることが共通の願いです。

ミンダナオ島に平和を、子どもたちに安心を!!

(編集長 一ノ瀬善秋)